



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月7日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札
コード番号 2218 URL <http://www.nichiryopan.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 吉田 勝彦
問合せ先責任者（役職名） 取締役経理本部長（氏名） 那須 英幸 (TEL) 011-851-8188
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,297	2.7	89	93.4	98	82.5	63	88.2
2023年3月期第1四半期	4,184	2.3	46	27.1	54	26.3	33	△2.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	30.15	—
2023年3月期第1四半期	16.02	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	13,713	4,957	36.2
2023年3月期	13,999	4,903	35.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 4,957百万円 2023年3月期 4,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	15.00	15.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	3.5	240	27.9	240	3.3	150	178.7	71.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	2,103,948株	2023年3月期	2,103,948株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	10,890株	2023年3月期	10,890株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	2,093,058株	2023年3月期1Q	2,093,196株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)における北海道の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により行動制限が概ね収束したこともあり、緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、エネルギーコストを含む物価高の影響もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

当業界におきましては、お客様の節約志向や低価格志向が強まり消費が伸び悩むなかで、卵の供給逼迫、小麦粉や油脂などの原材料価格の上昇に加え、ガス、電気等のエネルギーコストの上昇もあり、厳しい経営環境となりました。

このような情勢下におきまして、当社は、「おいしく、北海道らしく。」の方針と、日々お客様へ安全・安心な製品を安定して供給する使命に基づき、科学的根拠に基づく感染防止対策に全社を挙げて取り組みつつ、日常業務の着実な遂行に努めてまいりました。また、各種コストが高騰するなか、引き続きお客様へ安全・安心な製品を安定して供給するため、本年7月から、一部の食パン、菓子パン、調理パン、和洋菓子製品の価格改定を実施するとともに、お客様のニーズに沿った高付加価値製品やお買い得感のある製品を積極的に展開いたしました。

製品別の売上状況につきましては、食パン部門は、主力の「絹艶」シリーズの品揃え強化と積極的な拡販を図ったほか、「ボンジョルノ クラウン」等の低価格帯食パンが伸長し、前年同期の売上を上回りました。

菓子パン部門は、主力の「北の国のベーカリー」シリーズや「ずっしりデニッシュ」シリーズが好調に推移するとともに、食卓ロール「もっちり道産米粉」シリーズ等の新製品を積極的に開発、拡販し、前年同期の売上を上回りました。

和菓子部門は、串団子製品や北海道産原料を使用したロングライフ製品「福かまど」シリーズが堅調に推移しましたが、蒸しパン、大福や饅頭類の伸び悩みもあり、前年同期の売上を下回りました。

洋菓子部門は、「ぶ厚いロールケーキ」シリーズ等のチルド製品が好調に推移しましたが、スナックケーキ類が伸び悩み、前年同期の売上を下回りました。

調理パン・米飯部門は、常温バーガーや「具たくさんおにぎり」シリーズ、セットおにぎりの「海老天むす」が順調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高は4,297百万円(対前年同期比102.7%)、営業利益は89百万円(対前年同期比193.4%)、経常利益は98百万円(対前年同期比182.5%)、四半期純利益は63百万円(対前年同期比188.2%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は13,713百万円で前事業年度末に対し286百万円減少しました。流動資産は4,269百万円で主に現金及び預金が176百万円、受取手形及び売掛金が134百万円減少し、商品及び製品が75百万円増加した結果、前事業年度末に対し222百万円減少しました。固定資産は9,443百万円で主に有形固定資産が60百万円、繰延税金資産が34百万円減少し、投資有価証券が28百万円増加した結果、前事業年度末に対し63百万円の減少となりました。負債合計は8,755百万円で主に長期借入金(1年内返済予定含む)が250百万円、未払法人税等が47百万円、賞与引当金が78百万円減少した結果、前事業年度末に対し340百万円減少しました。純資産合計は4,957百万円で主に利益剰余金が31百万円、その他有価証券評価差額金が22百万円増加した結果、前事業年度末に対し54百万円増加しました。

この結果、当第1四半期会計期間末における自己資本比率は36.2%、1株当たりの純資産は2,368円77銭となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、社会経済活動の正常化により景気の持ち直しが期待される一方で、長期化するロシア・ウクライナ情勢等に伴う物価高騰の影響もあり、景気の先行きは不透明な状況が続くことが予想されます。

当業界におきましては、お客様の節約志向が強まり販売競争が激化する市場環境のもと、小麦、卵や油脂などの原材料価格の上昇に加えて、エネルギーコストの高騰が見込まれており、経営環境は厳しさを増すものと予測されます。

このような情勢下におきまして、当社は「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、生産・販売・管理が一体となり各部門の小委員会活動を活用して製品施策・営業戦略を着実かつ迅速に実践・実行・実証するとともに、全社を挙げて各現場に即した5S活動を徹底し、業務の効率化と安全安心な職場づくりの両立といった内部管理の充実に努めてまいります。

本年5月内部通報メールでの指摘により不適切な会計処理(棚卸金額の過大計上)が判明し、過年度の訂正を行っております。当該不適切な会計処理に対する再発防止策として、以下の観点で具体的な改善策を講じたうえで、速やかに、かつ適切に対応してまいります。

- (1) 社内でコンセンサスの取れたコンプライアンス意識の確立
- (2) 経営理念の再確認
- (3) 確実な実地棚卸手法の確立
- (4) 内部監査および人材育成の強化

なお、2024年3月期通期に関する業績予想につきましては、2023年7月28日に公表した内容から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,036,340	1,860,056
受取手形及び売掛金	2,075,572	1,941,048
商品及び製品	44,501	120,354
仕掛品	21,591	36,244
原材料及び貯蔵品	240,094	247,645
その他	74,386	64,279
貸倒引当金	△253	△177
流動資産合計	4,492,234	4,269,451
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,333,779	2,301,369
機械及び装置(純額)	1,417,019	1,396,100
土地	4,662,405	4,662,405
その他(純額)	254,027	246,535
有形固定資産合計	8,667,232	8,606,411
無形固定資産		
その他	56,290	62,519
無形固定資産合計	56,290	62,519
投資その他の資産		
投資有価証券	561,541	590,189
投資不動産(純額)	42,800	42,800
繰延税金資産	155,937	121,033
その他	23,391	24,584
貸倒引当金	-	△3,625
投資その他の資産合計	783,670	774,981
固定資産合計	9,507,193	9,443,912
資産合計	13,999,428	13,713,364

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,019,392	2,083,881
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	891,000	865,500
未払法人税等	62,235	14,743
賞与引当金	185,232	106,543
特別調査費用等引当金	103,000	103,000
その他	1,073,991	1,050,973
流動負債合計	4,934,851	4,824,642
固定負債		
長期借入金	1,361,500	1,137,000
再評価に係る繰延税金負債	1,190,579	1,190,579
退職給付引当金	1,504,588	1,493,485
役員退職慰労引当金	97,271	100,364
その他	7,360	9,310
固定負債合計	4,161,298	3,930,738
負債合計	9,096,149	8,755,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	908,742	940,448
自己株式	△15,279	△15,279
株主資本合計	1,945,436	1,977,142
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	263,501	286,499
土地再評価差額金	2,694,340	2,694,340
評価・換算差額等合計	2,957,841	2,980,840
純資産合計	4,903,278	4,957,983
負債純資産合計	13,999,428	13,713,364

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,184,128	4,297,435
売上原価	3,009,440	3,075,889
売上総利益	1,174,688	1,221,545
販売費及び一般管理費		
販売費	917,618	923,719
一般管理費	210,852	208,458
販売費及び一般管理費合計	1,128,470	1,132,178
営業利益	46,217	89,367
営業外収益		
受取配当金	10,378	10,187
受取賃貸料	2,054	2,018
その他	1,680	2,724
営業外収益合計	14,113	14,930
営業外費用		
支払利息	6,251	5,617
その他	0	0
営業外費用合計	6,251	5,617
経常利益	54,078	98,680
特別利益		
固定資産売却益	612	97
特別利益合計	612	97
特別損失		
固定資産除却損	147	1,197
特別損失合計	147	1,197
税引前四半期純利益	54,544	97,580
法人税等	21,009	34,478
四半期純利益	33,534	63,102

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。